

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	火育～火を学び災害時に生き抜く力を育む～実践事業
事業主体 (連絡先)	長野LP協会佐久支部 (佐久市跡部65-1 佐久地方事務所内 電話0267-63-3450)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	780,734円 (うち支援金617,000円)

事業内容

1 火育を広域的に周知

「火育」というコトバそのものを広く地域に周知し、「火育」の必要性と社会的意義をPRするため『週刊さくだいら』に記事を掲載した。

掲載時期：平成30年11月8日(木)

2 火育プログラムの実施

【学習型プログラム】室内での学習

(1) 被災地での火の重要性を伝える

①人と火のつながりと利用のあゆみ

②被災地で火が人々にどんな影響をあたえるか物語を上映

(2) LPガスの災害時での有用性を伝える

①1口コンロを活用し、持ち運べるLPガスを体感

②液体窒素実験をとおしてガスとはどんなものかの実験を実施

③防災意識向上のためのパンフレットを配布

【体験型プログラム】屋外での学習

(1) 炊き出し体験

アルファ米を活用して非常食作りを体験

(2) 火と取扱い体験

①マッチの着火体験

②火おこし体験

③アンケートの実施

3 火育実施イベント

●おや子で避難所宿泊体験キャンプ ※佐久市危機管理課主催

実施日：平成30年8月11日(山の日)

●おおぞらまつり ※佐久平浅間小学校PTA主催

実施日：平成30年9月1日(土)

●お仕事ゼミ ※佐久平浅間小学校主催

実施日：平成30年10月18日(木)



【上：火育学習型プログラム】

【下：火育体験型プログラム】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①週刊さくだいらに火育と防災についての記事を掲載。広域的と「火」の重要性や必要性を周知することができた。

配布部数 55,000部

配布地域 小諸市、佐久市、南北佐久郡、東御市の一部地域

②火育プログラムの実施

【学習型プログラム】【体験型プログラム】を実施したことにより、参加者には火に対する理解を深めることができた。

③自治体並びに教育機関またPTA主催の各イベントに参加し火育プログラムを実施することにより、「火育」の必要性と重要性を認識してもらうことができた。

【目標・ねらい】

- ①「火育」というコトバとその必要性及び社会的意義を広域的に周知する
- ②火育プログラムの実施及び参加者への説明による火への理解
- ③自治体並びに教育機関及びPTAに「火育」の必要性と重要性を認識してもらう

※自己評価【A】

【理由】

「火育プログラム」を実施することにより、火育の重要性及び必要性を多くの人に認識してもらうことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度『週刊さくだいら』に火育の記事を掲載した際に、来年度の火育プログラムの実施募集の記事も併せて載せたので、今後はその募集状況を見ながら、この事業をさらに広めて実施していきたい。

また、今年度新たに「火育マイスター」（業界独自の認定資格者）が7名増え、来年度「火育マイスター」は12名体制となるので、今後はさらに実施回数を増やして、災害時において正しく火が使いこなせるスキルを身につけ、生き抜く力が育くんでいけるようにサポートしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある